

雨音が僕等を殺す

原案：赤闇／作詞・作曲：ヨシミ22歳

雨が囁く 現実を知れと
夢を売るなど 手を離すなど
雨が蠢く 霧深き時
傷跡に咲く 花であったが

幸福の中 踊れ輪になって
偽りであると 云いもせずに
荊の道よ 還れなき日々よ
運命など所詮 概念のみ

其れが救いだと主張するように 雨に僕等は消されてゆく
怨嗟が僕等を殺さずとも、雨音が僕等を殺すだろう

歪な時代を 画架を立て
絵具を用いて 刻んでゆけば
生きたがりだと 嗤う静物
間もなく息は 止まるのだろう

逢えたのならば 敢えなかったなら
罪深き日々を 知りもせずに
ロザリオのため ただ貴方のため
硝煙のにおいだけを残す

華やかな嘘に塗れた旅路を 僕は独りで終わらせるさ
怨嗟が僕等を殺さずとも、雨音が僕等を殺すだろう

酒をくれ 刃をくれ

地位や名声を欲するほどに あらゆるものは潰されていく
僕もその例外じゃ無いけれど 最期の叫びは届かない
売れない絵描きと何が違うのか 現在まで生きてた死にたがり
怨嗟が僕等を殺さずとも、雨音が僕等を殺すだろう

怨嗟が僕等を殺さずとも、雨音が僕等を殺すだろう